

市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和6年8月20日(火) 17時30分～20時			開催場所	出羽庄内国際村	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	田中 宏	司会	佐藤 久樹	受付	長谷川 剛	報告
	佐藤 麻里	写真撮影	小野 由夫	受付	石井 清則	記録
欠席議員	なし					
テーマ	部活動の地域移行について					
団体等の名称	民間クラブ関係者等				参加者数	15人
実施内容 (概要等)	<p>参加者及び議員を4班に分け、ワールドカフェ方式を取り入れながら、本市における「部活動の地域移行」に関する意見交換を行った。参加者から現状や課題を聞き取って問題点や課題を抽出するとともに、中学生の課外活動の理想像についても語り合った。</p> <p>特に「部活動改革に関する情報が不足している」「指導者の確保が困難」「活動場所の確保が困難」「保護者の負担が増えている」等の意見が多く寄せられた。</p>					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和6年12月4日

鶴岡市議会議長 様

市民文教班 代表者 田中 宏

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<p>①部活動改革に関する情報不足</p> <p>○現在、地域移行の過渡期の中で、進め方について悩みを抱えている等、「情報不足」に関して様々な意見があった。</p> <p>以下、参加者からの具体的な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体として、どう地域移行を進めていくのか方向性が明確でないため、それぞれの地域でどう進めていくのがベストかわからない。制度や仕組みもわかりにくい。 ・家庭の経済格差にかかわらず、子どもが活動できることが部活動の最大のメリットだったと思う。しかし、今後、学校の部活動が廃止される方向にあるのか不透明な状況なので、地域移行しようとしても非常にやりにくい。 ・地域移行に関して、情報が不足している。同一種目で他の学校と合同のクラブを作るにせよ、クラブ立ち上げはどう進めればよいか、何の資格が必要なのか等、市から情報提供してほしい。 ・県と市、各教育現場、中体連では、同じ情報を持っているはずなのに、それぞれの団体で理解度が異なることから、情報共有に問題があると感じる。また、民間団体に、しっかりとした情報が提示されていないのに、「民間で頑張る」はおかしい。各教育現場と教員個人もしっかり理解を深めてほしい。少なくともこの移行期に関する情報は共有すべきである。 				<p>○</p> <p>国の方針もさることながら、本市としての方向性を主体的に定め、子ども、保護者、指導者など市民に広く周知していく必要があるのではないかと考える。</p> <p>種目や組織、立場により、情報格差があると感じる。少なくとも現在の移行期においては、現場任せにせず、行政として共有すべき情報を整理し、議論の場を設定するべきと考える。</p> <p>情報提供の充実・改善を求めたい。</p>	

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<p>②部活動数の減少</p> <p>○生徒数の減少やクラブチームへの移籍等に伴い、学校における部活動は、存続が厳しい状況にある。</p> <p><u>以下、参加者からの具体的な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール部は9人いないと活動が難しいが、指導している中学校のソフトボール部員は現在6人しかいない。また、校内での勧誘の機会もない。 ・指導している中学校の吹奏楽部員は3人しかいない。地元の小学校には金管バンドがあるが、中学では美術部に入る傾向がある。 			○		<p>市内の子どもの数が減っている中、各学校の生徒数が減少するとともに人数的に存続が難しい部活動も増えている。民間クラブチームの存在、種目別の事情、運動系と文化系の違いにも目を配る必要があると考える。</p>
<p>③指導者の確保</p> <p>○指導者が不足している。</p> <p><u>以下、参加者からの具体的な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技経験のある保護者に指導を依頼し、活動をしているが、そうした人がいなくなれば、部活動が消滅する可能性がある。 ・土日の活動において、保護者会では見守り程度しかできていない。しかし、保護者会がなければ土日の活動もできなくなり、部活動が消滅してしまう可能性がある。そうなった場合、活動を受け入れるためのクラブを作らないと、生徒は試合に出場できなくなる。 ・吹奏楽部でも指導者確保が急務である。潜在的には経験者がいるはずだが、「指導」の経験をしたことがない人が多い。 			○		<p>指導者不足はどの団体においても共通の課題であると感じる。その地域の中だけでは人材を確保することが難しいため、広域での人材データベース構築が必要ではないかと考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<p>○外部指導者の報酬が低いという現状がある。</p> <p><u>以下、参加者からの具体的な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員としての籍もあることから、競技に関する活動は、月に計60～70時間している。なお、外部指導者としての報酬は、以前の3分の1である1万円/月額に減額している。 ・金管バンドの指導を週に2回して、報酬は年間で1万円である。 		○			<p>活動に見合った報酬の在り方について、課題があるとする。</p>
<p>④活動場所・備品の確保</p> <p>○これまでの部活動では、体育館などの学校施設を無料で使用していた団体が多かったが、地域移行が進むにつれ、活動場所の在り方が多様化し、新たに活動場所や備品を確保する必要が発生している。</p> <p><u>以下、参加者からの具体的な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のグラウンドを借りられないわけではないが、団員はそれぞれ別の学校に所属しているので、いろいろな場所を借りる必要がある。特に冬場が週1回確保できるかどうか、心配である。 ・吹奏楽クラブのようなものを生涯学習センターでやれないか模索している。 ・練習場所の確保が難しい。また、使用料も負担になっている。 ・練習場所と時間の調整に課題を感じている。卓球台は、施錠されている校舎にあり、台の移動に苦労している。 			○		<p>地域とのつながりが薄く、複数の学校にまたがるクラブの場合、活動場所の確保がより難しくなっていると感じる。そんな中、学校の垣根を越えたクラブが、生涯学習センター等の施設で活動できることは望ましいことと考えるが、活動場所に必要な設備や備品がない場合、学校から移動しなければならない等の課題が発生する。さらに、使用料が、新たな負担になっているため、対策の検討も必要と考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
○スキー競技は、練習場所の確保に苦慮している。特に昨年は雪不足で、複数の市営スキー場のシーズン券を購入しながら練習をしていたため、保護者の負担が増大した。保護者の負担を軽減するために、共通シーズン券の発行や補助等はできないか。			○		昨年度スキー場の料金改定を行っているが、若年層の更なるスキー利用拡大に向けて、3スキー場の共通シーズン利用券など検討の余地があるのではないか。
○文化部は音楽室など体育館以外で活動しているが、警備の関係もあって土日に使用しづらい学校が多い。			○		セキュリティなどクリアすべき課題はあるが、学校の体育館以外の場所の開放を進めてはどうか。
⑤生徒の安全確保 ○活動の際の生徒の安全確保について、対応への不安や環境整備に課題を感じるとの声があった。 <u>以下、参加者からの具体的な意見</u> ・ケガや熱中症になった場合など、保護者だけで対応しなければならない場面を考えると不安がある。AEDの使い方も分からず、配慮が必要な子どもへの対応にも負担を感じている。 ・熱中症対策として、中学校以外の体育館に冷風機が配備されていないことは問題だ。			○		子どもの生命に関わる事項であることから、消防本部と連携しての保護者向け救急救命研修などの実施も検討すべきと考える。また、安全な活動のため、全ての活動場所における熱中症対策に留意する必要があると考える。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<p>⑥保護者の負担増</p> <p>○生徒の活動に際しては、保護者の協力が欠かせないが、運営面や費用面などで、様々な負担を感じているとの意見があった。</p> <p>以下、参加者からの具体的な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日や平日の17時以降は、保護者会活動となり、体育館等の鍵当番を保護者会で担当しなければならないが、保護者の立場で土日の鍵当番をしなければならないのは大変である。 ・クラブ運営には、施設費や移動費など様々な経費がかかる。活動資金を賄うために、各家庭の負担は以前の2～3倍に増えている。その他、活動場所までの移動費や食費にも経費がかかる。 ・地域移行に伴い、部活・地域・クラブに所属することになり、3つの団体の活動費を払っている家庭もある。 				○	部活動の地域移行に伴う費用面について、調査・分析した上で、行政としても具体的支援を強化する必要があるのではないかと考える。
<p>⑦理想像・あるべき姿</p> <p>○現在、地域移行の過渡期中で、理想的なあるべき姿について、様々な意見があった。</p> <p>以下、参加者からの具体的な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意向に応じて、学校生活と両立した形で、スポーツや音楽等を安全に楽しく活動できる機会を確保してあげたい。 ・子どもたちが学校時代だけでなく、生涯スポーツとして楽しんでもいける土台を作ってあげたい。 ・クラブを法人化するなどして、指導者報酬だけで生活していける人も育つ環境を目指すべきだ。 ・学校の部活動はその種目を始めるきっかけとしての意味がある。 				○	子どもが、住む地域や家庭の経済力にかかわらず、多様な課外活動を選択できる環境を目指していくことが望ましいと考える。クラブの運営形態や方針についても多様性があるとさらに望ましい在り方になると考える。さらに、生涯学習の土台づくりとして、学校での部活動を捉え直し、「部活動をする・しない」等の選択できる環境が望ましいと考える。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
⑧要望 ○数年前に市内の総合型スポーツクラブに対して、モデル事業として市から助成されていたと聞いた。どんな助成が行われたのか、内容や成果を知りたい。			○		総合型スポーツクラブについて、既に存在するクラブ同士の情報共有や、これから設立を目指す団体への情報提供など、行政としても支援できる部分があるのではないかと考える。
○中体連主催の大会にクラブでは出場ができない種目がある。中体連主催の大会に出場するために部活への移籍が必要になるケースもある。仕組みの変更を望む。			○		これまで参加することができた大会に、今後も出場する機会を確保するためには、出場要件を整理・検討していく必要があると考える。
○クラブを立ち上げる際、必要な備品や道具を揃えるための初期投資に対する費用助成が欲しい。道具がないと始められない。			○		部活動の地域移行を促進するためには、学校の備品活用も含めて、関係者への情報提供等が必要と考える。
○スポーツクラブに対する補助金の使い勝手が悪いので、現場の声を聞いて制度を改善してほしい。			○		どのような補助金制度であれば、使い勝手がよくなるのか現場の声を聞きながら、改善を要すると考える。
○遠征等の移動のために、市や学校のバスを出してくれる自治体があり、鶴岡市でも取り入れてほしい。			○		民間クラブの活動等に市所有のバスを使用することについて、他自治体での方針や対応状況の調査が必要と考える。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの